



節分にちなみ一人一人鬼のお面を付けて「豆まき」をしました。



2月2日(火)の節分にちなんで、全園児による「豆まき」を行いました。

まずクラスごとに記念写真を撮りました。子どもたちの頭には色とりどりの「鬼のお面」がつけられています。そしてそれぞれ工夫を凝らした豆入れを持っています。3学期に入り、今日のために各クラスで製作したものです。



クラスごとの写真撮影も

終わり、いよいよ「豆まき」です。園長先生から説明がありました。初めに「節分」と「豆まき」の由来などについて話を聞きました。「季節の分かれ目：節分」は邪気が入りやすく、特に旧暦では立春のころは当時の新年の始まりだったため、最も大切な節目とされました。そこで「鬼を追い払う邪気祓いの行事」として「豆まき」が始まったそうです。園長先生からも、心の中の「意地悪をする鬼」「すぐ泣いてしまう弱虫の鬼」などを追い出しましょう、というような話がありました。



そしていよいよ「豆まき」の始まりです。園庭には、「青鬼、赤鬼、緑鬼」が登場しました(先生が変装しています!)。年長組⇒ばんび・年少組⇒年中組の順に豆を投げて鬼を退治します。鬼に追われ逃げまどう子どもたち。でも子供たちも負けていません。持っている豆を鬼めがけて投げつけます。鬼も少しずつ弱っていき、子どもたちは鬼を追い払うことができました。

